

広報

my hometown TOMIOKA 2016

10
No.648

とみおか

ご先祖様

とみっぴーの頭にいるのは、何でも知ってるご先祖様。いろんなご先祖様がやってきて、とみっぴーのお助け役として活躍中!

とみっぴー
お誕生日記念企画
『とみっぴーが行く! 特別編』は
4ページを見てっぴー!!

HAPPY BIRTHDAY
とみっぴー

町民の皆様へ

富岡町長 宮本 皓一

町民の皆様には、常日頃より町の復旧・復興にご理解ご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

去る8月6日より、私の任期は4年目に入りましたが、就任以来、様々な施策を着実に進めることができたことは、ひとえに町民の皆様のご協力の賜物と感謝しております。今後とも、引き続きご指導ご協力の程、よろしくお願いいたします。

さて、現在町内では来年4月の帰還開始を目指し、復興拠点の整備をはじめ、帰町した町民の生活に必要な環境整備などの事業を精力的に進めています。

すでに町立診療所は10月1日より診療を開始しており、また、複合商業施設駐車場において、毎週水曜日と金曜日において、毎週水曜日による移動販売車の営業も開始されています。その複合商業施設に

ついては、11月下旬にダイユーエイトと地元飲食店3店舗のオープンを予定しています。

災害公営住宅第1期分の50戸については、予定どおり工事が進捗しており、10月11日より入居者の募集も開始されます。第2期分約100戸についても、当初の予定を大幅に前倒しし、来年5月からの順次完成を目指して準備を進めています。

9月17日からは、「ふるさとへの帰還に向けた準備のため」の宿泊「いわゆる」準備宿泊が開始されました。町としても、住宅の清掃・補修や事業再開など、帰還に向けた準備を行う町民の利便性の向上に努めるとともに、引き続き帰還開始に際しての課題の抽出と、その解消に向けた取り組みを着実に進めていきます。

加えて、避難先での生活を継続せざるを得ない方に対する支援の必要性も十分認識し

ているところです。

現在、町民の『心』と『ふるさと』の復興を目指し、「避難指し解除後の町外生活サポート」と「富岡とつながる『ふるさと』づくり」を基本方針とした「人と町とのつながりアクションプラン」の策定を進めており、間もなく町民一人ひとりの意向を尊重した実施計画を皆様にお示しする予定です。

また、帰還困難区域については、早期の復旧・復興に着手するよう求める切実な声が多数寄せられ、町としてもあらゆる機会を通じて国に対し強く訴えてきましたが、去る8月31日、政府より帰還困難区域の再生に関する方針が初めて示されました。帰還困難区域の復興・再生に国が責任を持つて取り組むとの決意が示されたものと受け止めています。

すでに当町では、帰還困難区域の一部地域で本格除染が

開始されていますが、あくまで帰還困難区域全体の再生をしっかりと見据え、政府方針を着実に実行に移すことができれば、国へ働きかけ、町の役割を果たしていきます。

一方、郡内における救急医療体制の早期整備については、これまでも双葉地方町村会を通じた要望活動のほか、県が設置した避難地域の医療体制検討会等を通じてその必要性を訴えてきましたが、このほど内堀福島県知事より県立病院として「ふたば医療センター（仮称）」を富岡町内に設置し、平成30年4月目途の開院を目指すという施設整備に係る概要が発表され、約20億円の関係予算が県の9月補正予算案に計上されました。

私としても大変喜ばしく、双葉郡の住民にとって安全・安心の確保はもとより、古里への帰還意欲の促進にも繋がるものと確信しています。

特に来春の帰還開始を目指す当町にとっても、今回の発表は復興・再生の着実な実現に向け、大きな励みになるものと考えており、今後、当救急医療施設の早期整備の実現に向け、立地町として最大限協力してまいります。

このように多くの皆様のご理解とご協力により、目を追うごとに、目に見える形で復興が着実に進んでまいりました。本格復興の正念場と位置付けスタートした今年度も、いよいよ後半に入ります。引き続き、一人でも多くの町民の皆様が古里の確かなる復興を一層実感し、町とのつながりと希望を持つことができるよう、様々な取り組みを精力的に展開してまいります。

引き続き、皆様のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

世耕経済産業大臣が帰還困難区域を視察 “古里の着実な再生”に向けた支援を要望

世耕弘成経済産業大臣は8月19日、JR夜ノ森駅構内を含めた帰還困難区域を視察するとともに複合商業施設などの復興拠点内の整備状況や町の取り組みを確認しました。

視察にあたり、宮本町長から「富岡町が復興することで隣接町村の復興もさらに加速する。放射線量の低減はもちろんのこと、復旧・復興支援を願いたい」と要望書を手渡しました。



復興拠点について説明

復興に関する要望書

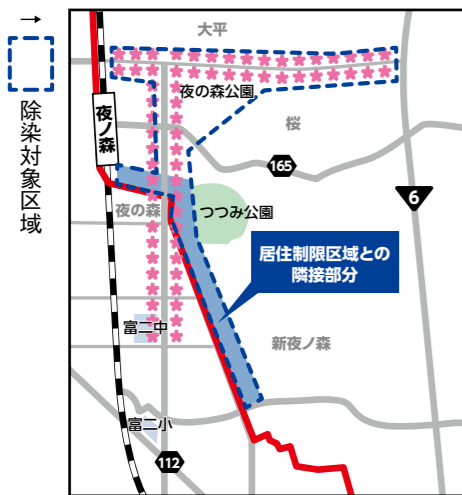
1. 平成29年4月の帰還開始と長期目標を見据えた徹底除染
2. 帰還困難区域の本格除染
3. 被害の実態に即した速やかな賠償と柔軟な対応
4. 事業再開に係る支援と営業損害賠償の柔軟化
5. 農業に係る損害賠償方針の早急な表示
6. 国際共同研究棟を核とした産業集積
7. 復興・創生を支える確実な国の財政支援



帰還や生活再建に係る7項目を要望

帰還困難区域内の除染作業が始まっています

今年7月に環境省より示された、居住制限区域に接する帰還困難区域の除染作業が8月下旬より一部開始されました。



多くの工事車両が通行しているっぴ。町内では、運転などに気をつけてっぴ！



準備宿泊のご案内

富岡町では、9月17日から準備宿泊（ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊）が始まっています。宿泊を希望する町民の方は、準備宿泊コールセンターへお申し込みください。

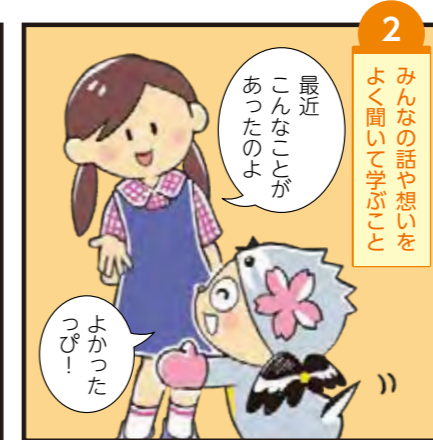
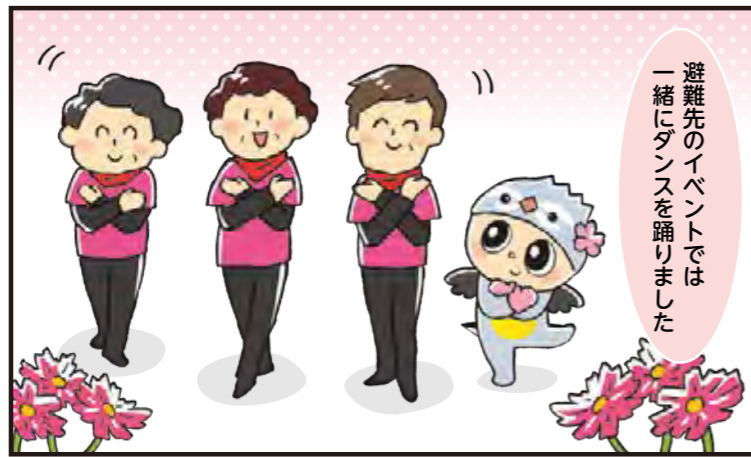
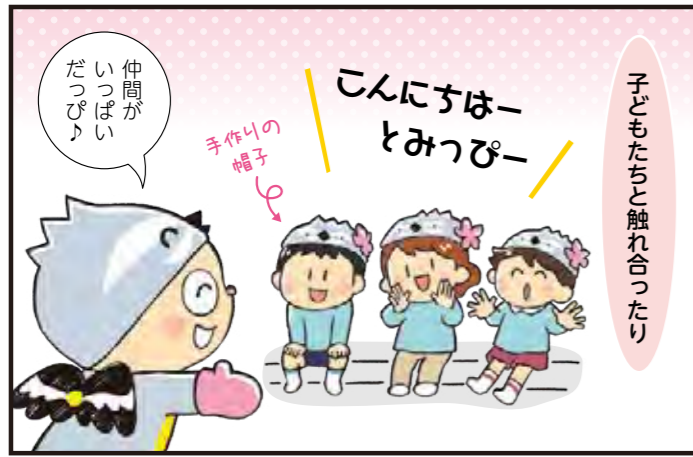
【宿泊される方へのお願い】

「準備宿泊コールセンター」へ、必ず事前届出を行ってください。届けられた情報は、宿泊される町民の皆さんの安全・安心のため警察署や消防署などの関係機関と共有します。

【宿泊可能な地域・一時宿泊施設】

- 避難指示解除準備区域及び居住制限区域内の自宅や知人宅等
※帰還困難区域内の自宅等には宿泊できません。
- 富岡町一時宿泊施設「ホテル芳門」
☎0240-22-1807(準備宿泊の申込後にご予約ください)

「準備宿泊受付コールセンター」 ☎0120-576-867 受付時間 8:00~20:00(平日)/8:00~17:00(土・日・祝日)



準備宿泊

9月17日から準備宿泊が始まって、避難指示解除までずっと町内に泊まれるようになったっぴー!

家の修理
農地の管理
事業再開の準備

などがやりやすくなります。

町は平成29年4月の帰還開始をめざしています

桜の咲く頃じゃなく

もうすぐだっぴー

平成29年 4

これからの町のこと&とみっぴーの目標!!

特別宿泊では町民のみんなと友だちになったっぴー!

自宅に泊まってどうだったっぴー?

庭の花に癒されたよ

カセットコンロで簡単な料理は作れたわよ!

「飯は」
「うっぴー」



たとえば... 避難指示解除後の町外生活をサポートします。

近いうちがここっぴー

只今検査中だっぴー

町内以外の役場窓口の継続
町民の健康の見守り
町内の家屋や不動産などの管理

たとえば... 富岡町とつながる“ふるさと”づくりを行います。

詳しくはウエブだっぴー!

広報紙やホームページなどで町の情報を伝達
町内の行事やイベントの再開

他にも、町のみんなのための支援があるっぴー! 計画書が完成したら、みんなに届けるっぴー

人と町のつながりアクションプラン

町に帰れない人や迷っている人への支援を計画中だっぴー!

人と町のつながりアクションプランでは、「心の復興」と「ふるさと富岡の復興」が表裏一体だと語っているんじやよ

ひまわり
いつたい?

本格除染が完了した後も線量を確認し、高い箇所があれば再除染を行います。

フロアアップ
除染も計画的に進められてるっぴー!

災害公営住宅はここまで進んでいるっぴー

来年4月に入居が始まります。

とみっぴー活動報告書 3

町の様子や勉強したことをみんなに伝える

いつも元気な声飛び交っているっぴー!

富岡町保健センターの中に復旧課・復興推進課・拠点整備課ができたっぴー!!

とみっぴーの目標は、「町のみんながどこにいてもつながって、いつまでも幸せでいてくれること」
そのために、これからも飛びまわるっぴー~♪

つづく



とみっぴーの目標はなんじやな?

うーんと...

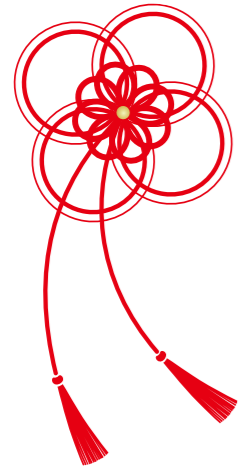
放射線情報まとめサイトが9月30日にオープンしたっぴー!

自宅周辺の放射線のチェック、放射線の勉強会、相談会の情報も載っています

詳しくはコチラ
<http://tomioka-radiation.jp/>

住民座談会や町政懇談会でみんなの声を聞いているっぴー

コンビニもできて町民の姿も増えてきたっぴー♪



～郡山会場～



～いわき会場～

祝

平成28年度 富岡町敬老会

長年にわたり地域や社会に貢献された町民の皆様への感謝と長寿をお祝いする富岡町敬老会を、9月1日に郡山市、8日にいわき市で開催しました。70歳以上の町民の皆さんが招待されて426人が参加しました。

第一部の式典では、宮本町長が「元気でこの日を迎えられる方々に敬意と慶祝の意を表します。多くの皆さんの元気な姿を拝見でき、たいへん喜ばしく感謝しています」とお祝いの言葉を述べ、75歳以上の方へ敬老祝金を贈呈。また、結婚60年のダイヤモンド婚を迎えられたご夫婦を表彰しました。

福島民報社と県老人クラブ連合会からは、金婚を迎

えられたご夫婦23組に「しあわせ金婚夫婦表彰」が贈られ、半世紀を連れ添ってきた皆さんを祝いました。第二部のアトラクションでは、民謡歌手の大塚文雄さんによるふれあい「絆」コンサートが行われ、参加された皆さんは合いの手を入れたり、一緒に民謡を口ずさみながら楽しいひと時を過ごしました。

結婚50年 おめでとうございます！



鈴木武利さん・文子さん(栄町)

「会場では郡山市内で一緒に運動している仲間に会いました。結婚50年を迎えて、お互いに感謝の気持ちを持ち続けることをこれからも大切にしていきたいと思います」

結婚50年 おめでとうございます！



深谷徳男さん・美智子さんご夫婦(栄町)

「これからのんびりと土いじりなどをしようと思っていた矢先の震災でした。それを乗り越えながら、今回金婚を迎えることは、やはり健康が1番だということです」

結婚60年 おめでとうございます！



渡邊喜助さん・しげ子さんご夫婦(王塚)

「老人クラブの活動などで忙しいので、妻が支えてくれていることにいつも感謝しています。これからも楽しく生きていくために、2人で旅行に出かけたりしたいと思います」



お祝いの言葉を述べる宮本町長



代表で祝い金を受け取る
高倉八郎さん(深谷)・伊藤里子さん(本町)

◆◆◆◆動画のお知らせ◆◆◆◆

富岡町公式チャンネルでは、敬老会の様子を動画でご覧いただけます。



富岡町公式チャンネル 検索



ふるさと富岡が つなぐ笑顔の輪



元気の秘訣を教えてくださいました！



(左から)三瓶光子さん(仲町)・平子マサ子さん(西原)
稲田コトさん(下千里)・遠藤啓子さん(仲町)
「規則正しい生活を心がけて気心の知れた仲間と一緒に運動したり、お茶飲み会をしたりすることです。晴れた日はもちろん雨の日も集会所に集まるなど、家にこもっていないで外に出ていくことが大事です」



渡邊初三さん・カツ子さんご夫婦(新町)
「自分の好きなことをすること。いくつになっても好きなゴルフを楽しみ、走って移動できるくらい元気でいたいと思います。(カツ子さん)私は毎日、無事に過ごせることが嬉しいです。避難先の皆さんがとてもいい方たちばかりで、ハーモニカや健康体操の教室に通っています」



猪狩剛さん・ヒロ子さんご夫婦(清水)
「元気でいる秘訣は野菜作り。郡山市大槻町に畑を借りて、そこで作った野菜をJA全農福島の直売所に出荷しています。また、今年8月には富岡の畑に蕎麦の種をまきました。これからも農業を通して元気でいたいです」





富岡町立とみおか診療所開所のお知らせ

10月1日(土)より町立診療所が開所しました。詳細は左記のとおりです。

住所 富岡町大字小浜字中央374番地1

管理者 今村 諭医師

(医療法人社団 邦論会 今村病院院長)

診療科 内科・外科・精神科

診療日 木・金・土曜

診療時間 9時～12時30分

13時30分～17時

※平成29年4月からは、週5日(火曜から土曜)診療いた

第15回双葉地方広域消防職員意見発表会の開催について

第15回双葉地方広域消防職員意見発表会を開催します。双葉郡を守るため、消防防災をテーマにした新しい発想を、若き隊員たちが提案します。

日時 平成28年11月9日(水) 13時30分～15時

場所 葛尾村民会館大ホール

発表者 消防職員5名

主催 双葉地方広域市町村圏組合

消防本部

協賛 福島県消防協会双葉支部

その他 入場無料

双葉地方広域市町村圏組合 消防本部総務課

☎0240-25-8523

10月は不正軽油撲滅強化月間

県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の

電話番号 0240-22-6522

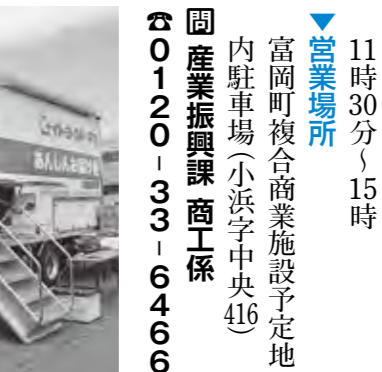


健康福祉課健康づくり係 ☎0120-33-6466

イトーヨーカドー「あんしんお届け便」開始のお知らせ

一時帰宅や準備宿泊などで町内に立ち入らされている皆様の利便向上のため、ヨークベニマルが来春(2017年春)に営業再開するまでの間、イトーヨーカドー平店の移動販売車が富岡町複合商業施設予定地内駐車場(旧富岡ショッピングプラザTomとむ)で営業しております。移動販売車には、生鮮食品や冷凍食品等の食料品、日用品など、約500品物を取り揃え

営業日時 毎週水曜日・金曜日 11時30分～15時



営業場所 富岡町複合商業施設予定地内駐車場(小浜字中央416) 富岡産業振興課 商工係 ☎0120-33-6466

撲滅に取り組んでいます。「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない」

の皆様のご協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供については、県庁税務課または最寄りの地方振興局県税課までご連絡ください。

関係庁総務部税務課 ☎024-521-7205

関係庁総務部税務課 ☎024-521-7905

メール zeimu@pref.fukushima.lg.jp

相双地方振興局県税部 ☎0244-26-1127

FAX 0244-26-1128

メール soso.kenzei@pref.fukushima.lg.jp

「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設します。厚生労働省福島労働局からののお知らせ

平成29年1月1日より法律が改正され、いわゆるマタハラなどのハラスメント防止措置が事業主に義務付けられます。

放射性セシウム測定のお知らせ

【ゲルマニウム半導体式核種分析装置】高い精度の放射能検出器を用いた測定を行います。対象は、富岡町内の水・土壌・果樹等です。受付期間内に保健センターへ持参してください。

測定日程表: 受付期間、受付時間、測定日、結果報告書送付目安

※土・日・祝日は受け付けを行いません。 富岡産業振興課 商工係 ☎0120-33-6466

【簡易放射能分析装置(検出限界値 約20ベクレル)】20ベクレル以上の放射能を検出いたします。

実施施設と申込み先表

※各測定場所で予約を受け付けております。申し込み先へご連絡いただいた際に、希望する検査施設名称と「簡易検査器での放射能測定希望」とお伝えください。

また、育児休業や介護休業などが利用しやすくなりま

「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設

事業主・労働担当者等向け 説明会を県内4会場で開催。詳しくは、福島労働局ホームページ(http://fukushima-roundoukyoku.jstie.mhlw.go.jp/)をご覧ください。

関係局労働局雇用環境・均等室 ☎024-536-4609

福島県立ふたば未来学園高等学校 公開文化祭「双来祭」のお知らせ

10月30日(日) 10時から14時30分

場所 ふたば未来学園高等学校 (双葉郡広野町大字下浅見川字築地12)

テーマは「Enjoying Diversity」多様性を楽しもうという意味です。文字通りさまざまな色が混じりあった生徒実行委員

が企画する本校初の文化祭です。各クラスそれぞれの色を決めての個性あふれる企画や文化部の発表、他にもたくさんイベントが行われます。「双来祭」にぜひお越しください。

関係校 生徒会担当 佐藤 ☎0240-23-6825

富岡町ごみ出しカレンダー

平成28年10月と11月のごみ出しスケジュール表

富岡復興推進課 除染対策係 ☎0120-33-6466

厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」 福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

求職者向け講習

除染等業務作業従事者講習

仮置きされている土壌等の収集運搬作業及びため池や里山除染作業にも従事する際、必要な知識です。

会場	開催日時	申込締切	定員
郡山市労働福祉会館 (郡山市虎丸町7-7)	10月28日(金) 受付9:00~ 9:20~17:00	10月24日(月)	50名

小型移動式クレーン運転技能・玉掛け技能講習

会場	開催日時	申込締切	定員
富久山産業機械講習所 (郡山市西田町兜生田字前田119)	10月25日(火)~ 10月30日(日) 8:10~17:30	10月13日(木)	10名

車両系建設機械運転技能講習 (整地・運搬・積み込み用及び掘削用)

会場	開催日時	申込締切	定員
北部日本建設機械講習所 (伊達市原島95)	10月25日(火)~ 10月29日(土) 8:10~17:20	10月13日(木)	10名

フォークリフト運転技能講習

会場	開催日時	申込締切	定員
夜ノ森さくら建設 機械講習所 (郡山市三穂田町駒屋字北原7)	11月10日(木)~ 11月13日(日) 8:10~18:10	10月30日(日)	10名
富久山産業機械講習所 (郡山市西田町兜生田字前田119)	11月17日(木)~ 11月20日(日) 8:00~18:10	11月6日(日)	10名

介護職員初任者研修

初めての方でも安心して受講いただけます。

会場	開催日時	申込締切	定員
トモク株式会社 郡山研修センター (郡山市安積町荒井字打登番5-4)	10月24日(月)~ 12月20日(火) 9:00~16:30	10月16日(日)	20名
株式会社ニチイ学館福島校 (福島市栄町6-6ユニックスビル3階)	10月27日(木)~ 12月26日(月) 9:30~16:40	10月19日(水)	20名

就職相談

就職相談についての悩みや不安を、相談員と一緒に考えて、一歩踏み出すお手伝いをします。

会場	開催日時	申込締切	定員
二本松市役所 2階203会議室 (二本松市金色403-1)	10月25日(火) 13:00~15:00	10月24日(月)	5名程度

企業向け講習

車両系建設機械運転技能講習(解体用)

会場	開催日時	申込締切	定員
夜ノ森さくら建設 機械講習所 (郡山市三穂田町駒屋字北原7)	10月25日(火) 8:10~16:40	10月13日(木)	10名
みなみそうま建設 機械講習所 (南相馬市原町区1-27)	11月17日(木) 8:10~16:40	11月7日(月)	10名

小型移動式クレーン運転技能・玉掛け技能講習

会場	開催日時	申込締切	定員
夜ノ森さくら建設 機械講習所 (郡山市三穂田町駒屋字北原7)	11月1日(火)~ 11月6日(日) 8:10~17:30	10月20日(木)	10名

※受講料・テキスト代は無料です。詳しくは、福島広域雇用促進支援協議会のホームページをご覧ください。
 ※当協議会の各種セミナー、講習会、面接会へご参加いただいた方(雇用保険受給者)で、証明書が必要な方へ参加証明書を発行します。
 ※定員があります。申込締切後、当該事業の主旨に基づき厳正に選考いたします。締切後、電話にて選考結果のご連絡をいたします。
 ※申込者多数の場合は、早目に受付を締め切る場合があります。

〒福島広域雇用促進支援協議会 浪江窓口 ☎0243-24-9310 「働きたいネット」と検索してください。

平成28年度総合検診の日程について

実施地区	実施日	受付時間	実施場所(住所)
白河地区	10月21日(金)	9:30~10:30	白河市国体記念体育館 (白河市北中川原30)
福島地区	11月2日(水)	9:00~10:00	福島市国体記念体育館メインアリーナ (福島市仁井田字西下川原41-1)
いわき地区	11月4日(金)	9:00~10:30	富岡町役場いわき支所併設 多目的集会施設 (いわき市平北白土字宮前8)
	11月5日(土)		
	11月7日(月)		
	11月8日(火)		
	11月9日(水)		
郡山地区	11月14日(月)	9:00~10:30	ビッグパレットふくしまAホール (郡山市南二丁目52)
	11月15日(火)		
	11月16日(水)		
	11月17日(木)	9:30~10:30	福島県農業総合センター (郡山市日和田町高倉字下中道116)
	11月18日(金)		

総合検診意向調査(平成28年5月実施)で、受診を希望された方への書類を9月下旬に送付しました。書類が届かない方や申し込みはしていないが総合検診を希望される方は、問い合わせ先までご連絡ください。

検診当日は、町から届いた書類(総合検診受診録、承諾書等)と「**保険証**」(40歳未満は不要)を忘れずに持参してください。

●国保以外の保険に加入している40歳以上の被扶養者の方

町で実施する特定健診を受診される方は、保険者が発行した「**受診券**」と「**健康保険証**」を必ず持参してください。ただし、保険者によって町の特定健診を受診できない場合もありますので、事前に福島県保健衛生協会(☎024-546-0391)にご確認ください。なお、受診の際は費用が発生する場合がありますのでご了承ください。

※総合検診の受付は、借用する会場の都合上、ご案内の時間前に開始できません。受付開始までお待ちいただくスペースもないため、受付時間前のご来場はご遠慮くださいますようお願いいたします。

大腸がん検診・肺がん検診を希望される方へ

大腸がん検診は「2日分の便」、肺がん検診は「3日分の痰」を容器に取り、検診日当日に持参していただきます。検診を希望される方には事前に容器を送付いたしますので健康福祉課健康づくり係までご連絡ください。**検診日以外での容器回収日は設けておりませんので、必ず検診日にご持参ください。**検査容器の請求については、最低でも検診日の10日前までにお問い合わせください。

不明な点については、下記にお問い合わせください。
 ☎(国保の特定健診・後期高齢者の健診)住民課国保年金係
 (上記以外の検診)健康福祉課健康づくり係
 ☎0120-33-6466

問い合わせ先

- 富岡町役場郡山事務所
富岡町議会事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
FAX 024-961-3441
- 富岡町役場保健センター
復旧課・復興推進課・拠点整備課
〒979-1192
福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1
FAX 0240-25-8254
- 富岡町役場いわき支所
〒970-8024
福島県いわき市平北白土字宮前8番地
FAX 0246-88-1975
- 富岡町役場三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
FAX 0247-62-0901
- 富岡町役場大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
FAX 0243-48-1147
- 富岡町教育委員会
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
FAX 024-953-6304
- ※上記への連絡はコールセンター
☎0120-33-6466まで
- 町立とみおか診療所
〒979-1111
福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央374番地
☎ 0240-22-6522
FAX 0240-22-6074
- 大玉仮設診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎ 0243-48-4710
FAX 0243-48-4710
- NPO法人富岡町さくらスポーツクラブ
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 024-983-5299
FAX 024-983-5297
- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3345
FAX 024-935-3346
- おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3332
FAX 024-935-3334

消防署からのお知らせ

平成27年中の全国の火災状況

- ① 総出火件数は**39,111件**です。
- ② 火災による**死者は1,563人、負傷者数は6,309人**です。
- ③ ②の中で**住宅火災による死者数が914人**です。
- ④ ③の**住宅火災による死者の約7割が高齢者**です。

これから空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節となります。下記に主な出火原因と対策を記載しますので火災予防に御協力ください。

出火原因 第1位 「放火」

～対策～

- ①家のまわりに可燃物を放置しない。
- ②自動車やオートバイのカバーは防災品にする。
- ③センサーライトなどを設置し家の周囲を明るくする。
- ④ご近所との協力体制が重要です。



出火原因 第2位 「たばこ」

～対策～

- ①ポイ捨てをしない。
- ②寝たばこをしない。
- ③定期的に灰皿内の吸い殻を片付ける。
- ④吸い殻を捨てる際は、一度水に浸してから捨てる。



出火原因 第3位 「こんろ」

～対策～

- ①調理中はその場を離れない。
- ②こんろの周囲に可燃物を置かない。
- ③着衣着火を防ぐため、防災品のエプロンを使用する。
- ④こんろの周囲、グリル内は定期的に清掃する。



平成28年度全国統一防火標語
「消しましょう その火 その時 その場所で」



火災と救急は119番

- 【消防署連絡先】
- ◇浪江消防署 0240-34-7360
- ◇富岡消防署 0240-25-2119



鶴猪山
飼狩本
芳京鉄
美子雄
84(清水)
90(下郡山)
89(杉内)

お悔み

伊今猪安渡
藤野狩倍辺
夏公結心葉
実夏陽里莉
②(女) ②(男) ②(女) ②(女)
和文(下郡山) 祐介(王塚) 和之(清内)

お誕生

宮本祐太郎・みゆ紀
ご結婚

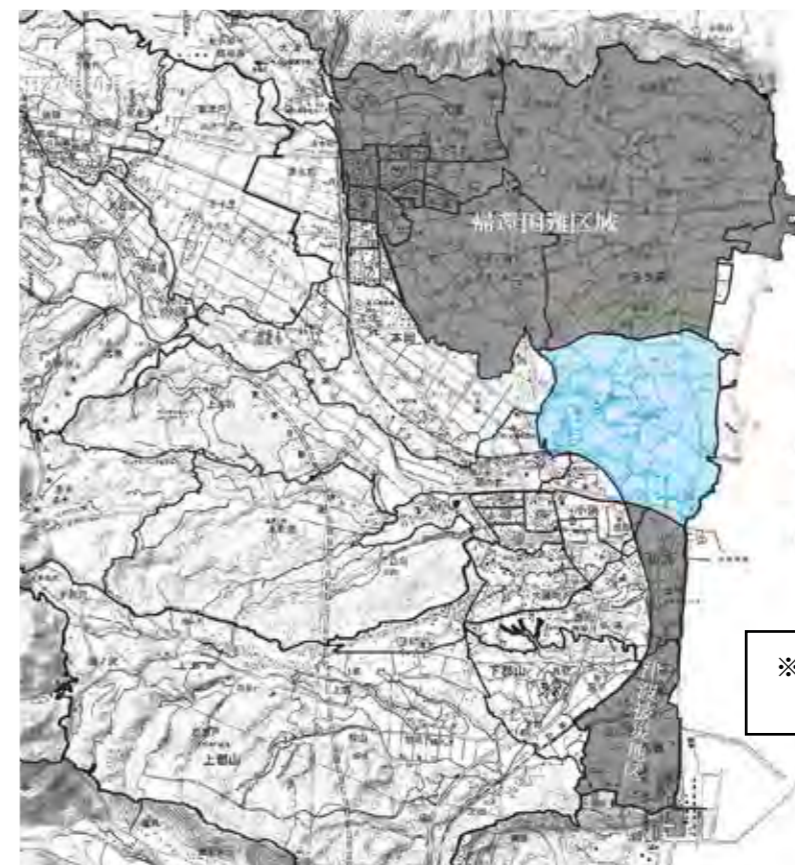
双葉地方水道企業団からのお知らせ

一部の地区における水道の使用開始(再開)について

10月から一部の地区において水道の使用が開始(再開)されます。水道の使用開始(再開)を希望されるお客様は、事前に企業団へお電話にてお申込みください。お客様の立会いのもと、安全を確認したうえで給水いたします。

水道料金については、当面の間、使用水量が累積10㎥以上になったときの検針月に請求いたします。

なお、水道メーター付近の調査及び止水作業、並びに検針業務のため、引き続きお客様の敷地内へ立ち入らせていただく場合がありますので、ご理解とご協力のほどよろしくお祈いします。



※10月からの使用再開地区
小浜地区の一部

水道水中における放射性物質のモニタリング結果

- 1. 測定機関 双葉地方水道企業団
- 2. 分析装置 ゲルマニウム半導体検出器
- 3. 検査頻度 毎日
- 4. 測定方法 緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法【放射能測定マニュアル(文部科学省)】
- 5. 検査結果 以下のとおり

平成28年7月29日～8月28日分(毎日採水、毎日検査)

採水場所	水源	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
小山浄水場	木戸川(ダム放流水)	不検出	不検出	不検出
関根浄水場	富岡川(伏流水)	不検出	不検出	不検出

※いずれの検体も、8月28日時点で放射性物質は不検出です。
※「不検出」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1.0Bq/kg)未満であることを示しています。
※最新の検査結果は、企業団ホームページ (<http://www.f-mizu.jp>) をご覧ください。

《参考》検査日現在の目標値 (単位: Bq/kg)

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	—	—	10

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。
◎ご家庭の蛇口から出る水道水の放射性物質検査を実施しています。(給水を再開されたお客様に限りです。)

図 双葉地方水道企業団 〒979-0515 檜葉町大字上小塙字小山6-2 ☎0240-25-5315(代)
【開庁時間】8時30分～17時15分(平日)

◆撮影日◆
9月2日
(晴れ)

◆撮影場所◆

- ①北郷ため池
- ②町災害公営住宅整備
(第一期分)
- ③国際共同研究棟
建設工事
- ④そば畑
- ⑤上郡地区
- ⑥小良ヶ浜地区

◆動画のご案内◆

町内を撮影した動画を、町公式YouTubeからご覧いただけます。



富岡町公式チャンネル 検索

とみおか写真館では、撮影場所のリクエストをお待ちしているっぴ。みんなの思い出の場所など見たいところがあったら担当者までメールしてっぴ！



☎ 総務課 秘書広報係
tom0100-005@tomioka-town.jp



←猪狩剛さん(清水)の畑で満開となった蕎麦の花。8月、約2ヘクタールの畑に種をまきました。



常磐富岡インター入り口の交差点付近にも蕎麦の花が咲いていました。



とみおか 写真館 Vol.7



とみおか写真館では、富岡町が復興していく様子や町民の皆さんの思い出の場所などを毎月お伝えします。

↑
平成29年3月の完成を目指している、「国際共同研究棟」。王塚地区に建設されています。

曲田地区では、「災害公営住宅」第一期分の50戸を整備中です。来年4月に入居が開始されます。



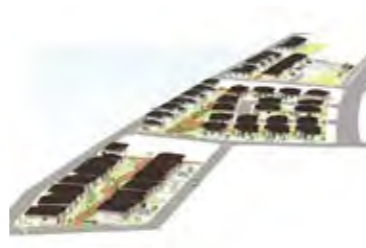
とみっぴー公式フェイスブックの記事を紹介するっぴ!

とみっぴー新聞 No.08

とみっぴー フェイスブック 検索

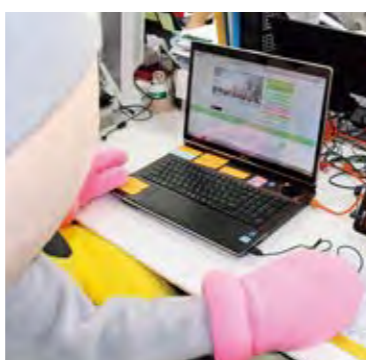
8/26 災害公営住宅の工事現場を見てきたっぴ

今日の富岡町はとってもいい天気だっぴ!
気温は31℃もあるけど、海からの風でちょっと涼しいっぴ。
来年4月に完成する災害公営住宅の工事がすすむ、曲田地区の様子を見てきたっぴ! 工事現場では重機がたくさん動いているっぴ!
整地がどんどん進んで大きな工事車両が行き来しているから、町に来た時はみんな気をつけてっぴ。



9/1 ホームページの新機能を使ってみたっぴ

今日から町ホームページで、「住民座談会」で町民のみなから出た意見とそれに対する町の答えが「Q&A形式」で見られるようになったっぴ。これまでのように全部読まなくても、自分が気になる項目をクリックするだけでそれに関する町の回答が出てきてとってもスムーズだっぴ!
とみっぴーが気になったのは、「共聴アンテナ区域ですが、テレビの受信ができません」の質問。特例宿泊のときにそれで困っている人もいたっぴ。町の回答には、役場の担当部署や関係会社の連絡先などがあるっぴ。とても便利な新機能だから、みんなも使ってみてっぴ♪



9/16 内堀知事は富岡町のことよく知っていたっぴ~!

昨日(9/15)、役場の桑野分室に内堀知事が来るって聞いたから飛んでいったっぴ!
とみっぴーが着くと、知事と「富岡町歴史・文化等保存プロジェクトチーム」のみんなが歴史資料や震災遺産の保全活動について話をしているところだったっぴ。知事は昔、仕事で富岡町によく来ていたみたいで、町の話でみんなと盛り上がっていたっぴ! MR(Mixed Reality)システムで「夜の森の桜のトンネル」の下を歩いた時も「夜の森の桜祭りに何回も行ったことがあるから懐かしいな~」ってニコニコしていたっぴ。今度、プロジェクトチームで企画展をやるときは見に行きたいって言ってたっぴ!
最後はみんなで記念撮影♪とみっぴーも知事に抱っこしてもらって一緒に写れて嬉しかったっぴー♪



「麓山の火祭り」再開に向けて大きな一歩 麓山神社復興記念式典



5年半前の大地震で被災し、昨年4月から復旧工事が進められていた麓山神社の復興記念式典が、9月10日に同神社で行われました。



記念碑の除幕を行う出席者



修繕された本殿で参拝する町民の皆さん

式典には宮本町長はじめ神社復興に協力された町内業者の皆さんなど約100人が出席。境内には記念碑も建てられ、参加者全員で除幕とバルーンリリースを行い、麓山神社の竣工を祝いました。
麓山神社の坂本壽昭総代(杉内)は「町の復興は進んでも、町民それぞれ悩みがあります。そんな時に神社を参拝することで気持ちが楽になるように、また『心の復興』につながることを願っています」と述べられました。

「ふるさとの風景を思い出してほしい」 富岡駅の模型を寄贈



1/50の大きさの富岡駅を手にする根本さん(右)

震災前に富岡町内で玩具店を経営されていた根本正彦さん(中央)より、富岡駅の模型をいただきました。根本さんは、「富岡町の人々にふるさとの風景を思い出してほしいという思いから震災前の富岡駅の模型製作を開始。完成まで2年を要したという模型は、駅構内に貼られていたポスターまで再現されています。模型は、富岡町教育委員会(郡山市桑野2-1-1)でご覧いただくことができます。

夜の森駅前北行政区の皆さんへ 区民の集い開催のお知らせ

平成28年度の区民の集いを、いわきフラワーセンターで開催します。1時間ほどゆっくり散策します。近くに休憩所やフラワー棟もありますのでお気軽にご参加ください。
参加される方は、10月20日までに区長または副区長にご連絡ください。

【日 時】 平成28年10月27日(木)
10:00集合 ※小雨決行

【場 所】 いわきフラワーセンター管理棟横駐車場
(いわき市平四ツ波字石森116)
☎0246-22-5667

【準備物】 歩きやすい靴、タオル、飲み物

【申込先】 区 長 面川 岩海 ☎090-5233-4195
副区長 関根 昭一 ☎0246-51-6362
※昼食は事務局で準備します。昼食後に解散となります。

平成3年度富二中卒業生 同級会と厄払いのお知らせ

昭和51年4月2日~昭和52年4月1日に生まれた方で、平成3年度富二中を卒業した方の同級会及び男性の厄祓いを開催します。
出席される方は、11月30日までに下記メールアドレスまで氏名・現住所・電話番号をご連絡ください。

【日 時】 平成29年1月2日(月)
(祈祷)15:00~(同級会)15:30~
※それぞれ30分前から受付開始

【場 所】 いわきワシントンホテル椿山荘
(いわき市平字一丁目1番地)
☎0246-35-3000

【会 費】 男性:12,000円/女性:10,000円

【連絡先】 渡辺 江身子・朝倉 真一
✉e_76-m_96-y-m.m.r@docomo.ne.jp
☎090-6453-5954

富岡バドミントン部が挑んだ最後のインターハイ

富岡高校が「富岡ふたば未来学園」として今年夏のインターハイに出場し、女子が2年ぶり3度目の団体優勝に輝きました。また、男子が団体準優勝、個人戦では山澤直貴選手と仁平菜月選手が、シングルスで史上初となる同一校での男女ダブル優勝を果たし、大会の歴史に新たな金字塔を打ち立てました。

今年度限りで休校となる富岡高校ですが、選手たちは「富岡の名前で優勝したい」という強い思いを胸に、会場に駆け付けた保護者やOB、そして場内の観客から大きな声援を受け、最後のインターハイを戦い抜きました。

バドミントン部は震災から2カ月後、休部の危機を乗り越え避難先の猪苗代町で活動を再開。選手たちは「自分たちが頑張つて、富岡町の人々に元気を届けよう」と奮起し、2012年の世界ジュニア選手権優勝や2014年のインターハイ団体男女アベック優勝など、避難が続く町民に勇気と感動を与えてくれました。

来年4月から、ふたば未来学園高校として新たなスタートを切るバドミントン部。チーム名から「富岡」の二文字は無くなりませんが、選手たちはここで培ってきた精神を力に変え、これからも走り続けます。

◆全国高校総体成績(敬称略)

- ・学校対抗団体戦
- 女子/優勝 男子/準優勝
- ・男子シングルス
- 優勝 山澤 直貴(3年)
- 第3位 金子 真大(2年)
- ・女子シングルス
- 優勝 仁平 菜月(3年)
- 準優勝 高橋明日香(2年)
- ・男子ダブルス
- 第3位 山澤 直貴(3年)
- 本田 大樹(3年)
- 同 金子 真大(2年)
- 久保田友之祐(2年)

「富岡高校の名を歴史に刻もう」とのスローガンのもと、インターハイの舞台に臨んだ選手たちは、富岡一色に染まった会場全体の声援を力に、最後まで諦めない富岡高校らしいプレーを展開してくれました。

無念ではありませんが、富岡高校は今年度を持って休校となります。しかし、我々の故郷・富岡町で培われた富岡魂は、確実なふたば未来学園の後輩たちへ受け継がれていきます。

町民の皆さまのこれまでのご支援、誠にありがとうございました。

富岡高校バドミントン部
顧問 大堀均



喜びに沸く選手の皆さん(中列左が大堀均教諭、前列左から3人目が山澤選手、5人目が仁平選手)

全国の舞台で富岡町スポ少OBが躍動 インターハイ・ソフトテニス

震災前、富岡町スポーツ少年団で活動していた林民生さん(宮城県東北高校2年)と根本大地さん(奈良県高田商業高校2年)が、岡山県で行われたインターハイで輝かしい成績を収めました。

林さんが出場した団体戦。迎えた愛知県岡崎城西高校との決勝は対戦成績1対1の接戦となり、勝負の行方は3番手、林さ

んのペアに委ねられました。「3番勝負を自分に託しているのかと正直思いました」と試合を振り返る林さん。重圧のかかる試合で見事に勝利し、東北高校は4年ぶりの全国制覇を果たしました。

また、個人戦に出場した根本さんのペアは、強敵を次々に破り決勝へ進出。日本代表の上松俊貴選手を擁する岡山理科大学附属高校のペアと対戦し、ゲームカウント2対4で敗れたものの、昨年の5位を上回る準優勝で大会を終えました。

スポ少時代にペアを組んでいた二人は、震災及び原発事故のため離ればなれとなり、別々の中学校に進学。卒業後は共に全国屈指の強豪校へ進み、お互いの活躍を励みにしながらソフトテニスに打ち込んできました。

来年は地元福島県での開催となるインターハイ。二人はこれまで支えてくれた人々への感謝の気持ちを胸に、高校生最後の夏に向けて新たなスタートを切りました。



全国制覇を果たした東北高校(後列中央が林民生さん)



来年、地元福島での優勝を誓う根本大地さん(右)

町民パークゴルフ大会 開催のお知らせ

1. 期 日 平成28年11月26日(土) 午前9時30分開会式
2. 会 場 広野町二ツ沼総合公園パークゴルフ場
3. 参加対象 富岡町民
4. 競技方法 18ホール(二ツ沼コース・さくらコース)によるストロークプレー
5. 参加申込 10月17日(月)～11月4日(金)まで、電話またはFAXでお申込みください。
6. その他
 - ・参加費は無料ですが、プレー費として1人300円徴収させていただきます。
 - ・申込みの状況に応じてバスでの送迎を行い、用具は無料で貸出しいたします。
 - ・昼食は事務局で用意いたします。
 - ・詳細につきましては、申込みされた皆さま宛てに後日郵送でお送りいたします。

◇問合せ及び申込み先 富岡町さくらスポーツクラブ ☎ 024-983-5299 FAX 024-983-5297

復興公営住宅「大玉村宮横堀平団地」 (安達郡大玉村玉井字横堀平158-16)

安達太良山の麓に位置するこの団地は、平成27年10月から入居が始まりました。現在は他町村の方も含めて、59世帯の方が生活しています。



復興公営住宅だより Vol. 3

福島県が整備する復興公営住宅の情報や入居された方、支援活動をしている皆さんをご紹介します。

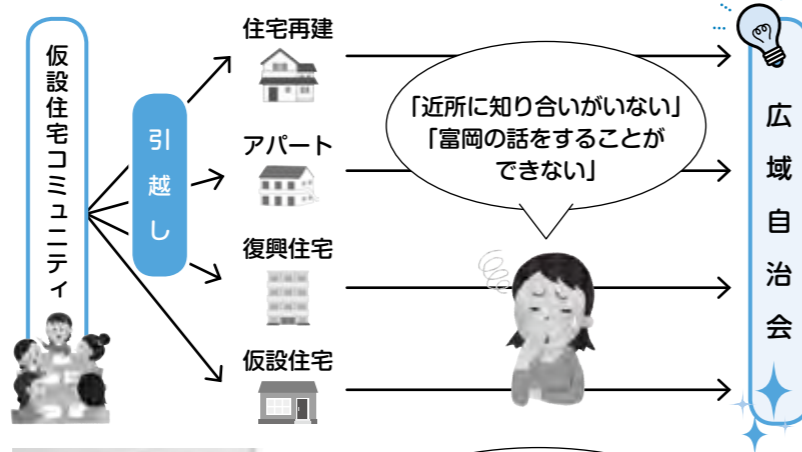
横堀平団地自治会は「広域自治会」

横堀平団地自治会の特徴は、団地に入居している方だけではなく、周辺の借上げ住宅に住んでいる方や住宅再建をされた方も入会できることです。その地域も大玉村内に限らず、近郊の二本松市や本宮市と対象が広がっています。

これは仮設住宅から引っ越し方々の中で「これまでに育んだコミュニティを維持し続けたい」という声が多かったためです。

現在もイベントの時には自治会に加入している皆さんが各地から集まり、震災後からのご近所付き合いを続けています。

〔広域自治会ができるまで〕



横堀平団地自治会長 深谷 邦克さん(小浜)

仮設住宅に住んでいた時のコミュニティが継続されているため、皆さん気兼ねなく交流会などに参加してくれます。現在も会員募集中です！080-6563-0240(深谷)までご連絡ください。

自治会活動で地域に溶け込みやすい環境をつくる

～大玉村社会福祉協議会の皆さんの活躍～



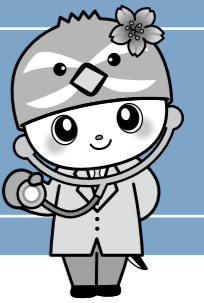
横堀平団地のコミュニティ形成に一翼を担っている団体の1つが大玉村社会福祉協議会です。大玉社協では、村内に避難された方を支援するために生活相談員を設置し、仮設住宅入居当初から戸別訪問や仮設住宅での催し物などコミュニティ支援活動を行っています。



この地域に住む皆さんが過ごしやすい環境をつくるために、避難されている方の関わりだけでなく、地元の皆さんとも交流できるような活動を行っています。

写真提供：大玉村社会福祉協議会

とみおか保健だより



第19回「何が違う？風邪とインフルエンザ」

あつという間に夏が過ぎ、秋になりましたね。これからの時期は、空気が乾燥して、そのため、細菌やウイルスの活動が活発になり、風邪やインフルエンザにかかりやすくなります。ところで風邪とインフルエンザは、症状も似ていて、区別が付きにくいものですが、いったい何が違うのでしょうか？

主な症状の違い

風邪はのどが腫れたり、鼻水や鼻づまりの症状があらわれて徐々に悪化します。発熱も37℃台の微熱です。インフルエンザは、突然38℃以上の高熱が出て、関節痛、筋肉痛、頭痛、全身のだるさ、食欲がなくなるなど、全身症状が強く現れるのが特徴です。

また、風邪は1年中かかりますが、インフルエンザは季節性で例年11月から12月に流行が始まり、1月から3月にピークを迎えます。



風邪とインフルエンザの違い

	風 邪	インフルエンザ
発症時期	1年中	冬
おもな症状	くしゃみ、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、せきなど	せき、のどの痛み、関節痛、筋肉痛、だるさ、食欲不振など全身に症状が現れる
症状の進行	ゆるやかに	急激に
発熱	微熱	38℃以上の高熱
原因	200種類以上のウイルス	インフルエンザウイルス

「うつさず」感染予防のQ&A

① 飛沫感染
風邪やインフルエンザの原ウイルスは、次の2つの経路で人から人へ感染します。
感染者のくしゃみ、せき、つばなどと一緒にウイルスが出て、それぞれ別の人が口や鼻から吸い込んで感染します。

② 接触感染
あわせて、日頃から十分な栄養と睡眠をとり、適度な運動をして、風邪やインフルエンザにかかりにくい体づくりを心がけてください。もし、かかってしまったら、安静にして、十分な睡眠と水分をとりましょう。

③ 予防のポイント
① 風邪やインフルエンザにかかっている人に近づかない
② ウイルスを口や鼻から吸い込まないように、流行時は外出する時にマスクを着用する
③ 手についたウイルスを洗い流すために手洗いをする
④ ウイルスがのどに付着するのを防ぐためにうがいをする



② 接触感染
感染者がくしゃみ、せきを押しえた手で、ドアの取っ手やスイッチなどに触ると、その接触場所を介して感染します。

大玉仮設診療所診療日

曜日	診療科目	担当医師
月	休 診	
火	休 診	
水	休 診	
木	内科・外科	井坂 晶
金	内 科	堀川章仁



個人でできる感染対策

- ① 外から帰ったらうがい・手洗い
- ② 咳がでるならマスク着用
- ③ なるべく人ごみに出掛けない





天気にも恵まれた上棟式 (写真右は妻・チエ子さん)

町内で自宅を再建しており、先月に上棟式を行った。
自宅の完成まで残り約1カ月。6年ぶりに富岡で新年を迎えられることに、大きな期待を寄せている。

「機転」や「知恵」を感じた被災直後震災当日、自宅から相馬市に向かっていた時に南相馬市小高区で大地震に遭いました。富岡に引き返す道中、乗用車が乗り越えられないほどの段差ができていましたが、近くにいた方が工事用足場に使う金属板を段差に架けてくれたおかげで通過でき、無事に

帰宅することができました。その時に改めて、人は日頃から知恵や工夫を出し合ったり、機転を利かせるなどして過ごしているのだと感じました。

仕事を離れても故郷のために平成10年に定年退職するまで(株)東京電力に勤務し、福島第二原発を経て、約15年間エネルギー館での業務を担当していました。

その頃、「桜にまつわる思い出の手紙」などの事業を行う、桜のとみおか委員会に加わりました。当初は協賛企業の担当者という立場でしたが、退職後も町民の一人として参加を続け、副委員長を務めています。被災後、同委員会は活動休止を余儀なくされていますが、再び活動できる日が来ることを願っています。

県外に避難したこともあったが避難指示により町を離れ、福島市内に住む長男一家の元を経て、長女一家が暮らす秋田市内で約半年間生活しました。福島県内と行き来していましたが、県外では町の動向や被災者対策などの情報が入りづらいため、平成23年11月に郡山市内の借上げ住宅に移りました。



大工の棟梁 (写真左) とともに行った投げ餅

帰還に向けて行動開始
避難指示区域の見直しや除染の進捗、そして町が帰還目標時期を掲げたことをきっかけに再び故郷で生活するための準備を始めました。

今年3月から元の自宅の解体工事を始め、6月には新しい家の建築工事に着手。先月10日、上棟式を行いました。今年夏以降、天候の不安定な日々が続いていましたが、当日は晴天に恵まれ近所の方々や友人、知人など数多くの皆様が避難先から駆けつけてくださいました。

11月に完成予定のため、引き渡し後には準備宿泊を申請し、早速故郷での生活を始めたいと思っています。

TOMIOKA 桜通信

第54号

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」は、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



まちの思い出



まちの思い出

林 岬さん (下千里) TOMIOKA 桜(さくら) 通信



故郷で働けるようになることを希望しています

家族全員が無事だった。平成22年4月に県立双葉翔陽高校に入学し、被災時は1年生でした。地震発生当日、私は休校日、妹は中学校の卒業式を終えて昼には帰宅していました。午後から2人でこたつ

震災当時は高校1年生。原発事故による町外避難で、生活と人生が大きく変わった。被災後、不安で希望を失いかけたこともあったが、原発事故で故郷を失った心の痛みをバネにして大学に進学。理学療法士を目指して勉強している。

避難により変わった一家の生活
避難後、私たち家族は生活が大きく変わりました。父は勤務先の避難により千葉県内に単身赴任、祖父母は首都圏の親類の元に身を寄せ、母

町外避難と高校生活
被災翌朝、避難指示により町を離れ、県内の親類宅を経て田村市内の借上げ住宅に移りました。避難直後、学校の今後についての情報が無く不安でした。しばらくしてサテライト校が開設されましたが、校舎が遠くて通えなかったため、借上げ住宅近くの県立船引高校に転入しました。双葉翔陽高校には1年間も通えず心残りでしたが、新しい学校で前向きに進もうと気持ちを切り替えました。

大学進学と将来の希望
高校卒業後、東北文化学園大学に入学し、医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻の4年に在学しています。実習を含めほとんどの単位を取得し、卒業や理学療法士の国家試験に向け、最終段階を迎えています。理学療法士を目指しているのは、私が幼い頃に母方の祖父が脳梗塞を患い、リハビリをする様子やその介護をする祖母の姿が印象に残っていたからです。
卒業や資格試験対策と並行して就職活動も行っており、福島県内の医療機関への就職を志望しています。近い将来、故郷で病院等が開設されるなど環境が整ったときには、理学療法士として皆さんのお手伝いができるよう勉強を続けていきます。

に入りテレビを見ていた時に大地震に襲われましたが、幸い私たち姉妹と別棟にいた祖父母は無事でした。地震直後、父はすぐに帰宅しました。しかし、福島第二原発構内で働いていた母とはしばらく連絡が取れずに安否を心配しましたが、夕方までに帰宅してその夜は家族全員が自宅で過ごすことができました。

と私たち姉妹は田村市内で生活するなど、一家離散状態となりました。被災まで元気だった祖父は、避難後体調を崩し、故郷の土を踏むことなく、昨年に亡くなりました。もし原発事故による避難がなければ、家族は離れることもなく、私は高校を卒業して地元就職し、今ごろ平凡な日々を送っていたかもしれません。

草野 倫仁さん (高津戸) TOMIOKA 桜(さくら) 通信



お客様を相手に日々勉強させていただいています

今年の新人。現在、埼玉県で理容師として働いている。震災後、県外の高校を経て富岡高校に転入し、平成25年には第92回全国高校サッカー選手権大会に出場した。

「上には上がいる」と感じたこと
幼稚園の頃にサッカーを始めてから富岡二小サッカースポーツ少年団に加わり、小学校高学年から中学校卒業まで福島県選抜メンバーでした。生意気な言い方ですが、サッカーに関して私自身、富岡町内や相双地区の小中学生の中ではトップクラス

富高への思いを捨てられず
震災当時、すでに富高への入学は内定していました。しかし、原発事故による避難で町を離れたため、スポーツコースがあり被災者の受け入れも行っていた学校法人日本航空学園日本航空高等学校(山梨県甲斐市)に入学しました。同校には全国各地から生徒が集まり、サッカー部も活発に活動し、勉強・部活動の両面で大きな刺激になりました。それでも富高に入学した仲間や監督と連絡を取り合う中、やはり富高でサッカーを続けたいという思いを捨てられず、1年生の2学期から転入しました。
富高への転入は自分勝手なことでしたが、明るく送りだしてくれた学校と仲間には感謝の気持ちでいっぱ



富高在学中寮生活を送っていた頃(3年生・平成25年)

いです。また、航空高校の仲間とは今でも交流が続いています。
全国大会出場と卒業後の進路
富高ではサテライト校や旅館での寮生活など、震災前のように恵まれた環境ではありませんでしたが、監督や避難生活を送る町民の皆さんから多大なご指導やご支援をいただき、平成25年には全国大会に出場できました。同大会の登録メンバーになったことは、私のサッカー人生にとって最大の誇りです。
高校卒業後、理容専門学校に進み理容師となり、銀座バーバー上福岡店(埼玉県ふじみ野市)に勤務しています。現在、サッカーからは離れてしまいましたが、これまで培った体力や忍耐力を生かして「日々勉強」を motto に、一人でも多くのお客様に喜んでいただけるような理容師を目指し、精進を続けていきたいと思っています。



発行／富岡町
編集／富岡町役場総務課秘書広報係
〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL: 0120-33-6466 FAX: 024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tomioka-town.jp/>
富岡町公式フェイスブック <http://www.facebook.com/town.tomioka.fukushima>
Eメールは富岡町公式ホームページの「Eメールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。

震災の鎮魂を願って いわき市で「柴燈大護摩供(さいとうおおごまく)」

写真提供：西山 栄さん(小浜)



燃え盛る護摩壇と願いを記した護摩木

いわき市赤井の嶽薬師寺常福寺で9月1日に開催された、夏大祭「柴燈大護摩供(さいとうおおごまく)」の一コマです。願い事を書いた護摩木が燃え盛っています。

この火が消えた後に灰の上をはだして歩く火渡りが行われ、全国から集まった20人の山伏や参拝者の皆さんが震災の鎮魂や家内安全、無病息災を願いました。

富一中第28回卒業生同級会を開催

写真提供：半谷 任さん(中央)



7月17日、いわき市湯本温泉「吹の湯」で震災後初めての同級会を開催しました。

今年5月に同級生の訃報が届き、その友に背中を押してもらった形で開催に踏み切りましたが、各地から30名が集まってくれました。

会の最後には参加者全員が一部屋に集まり、和やかに旧交を深め、ふるさと富岡の復興を願うとともに次回の開催を約束しました。

富岡一中バドミントン部 全国中体連で団体・個人2種目を制覇



とみっぴーと一緒に記念撮影

◇全国中学校体育大会成績(敬称略)

- ・女子団体 優勝 ・男子団体 準優勝
- ・女子個人 シングルス優勝 染谷菜々美
- 〃 3位 内山智尋 千葉美栄
- ・男子個人 シングルス3位 後藤サン
- ダブルス 2位 鶴岡真人・安田伊吹

震災後、猪苗代中学校に籍を置き活動している富岡一中バドミントン部が、8月に金沢市で行われた全国中学校バドミントン大会で、女子団体と個人の優勝を含む6部門で上位入賞を果たしました。

同バドミントン部は、福島県チームとして出場したジュニアスポーツアジア交流大会でも日本勢最高の6位に入賞しており、2020年の東京オリンピックに向けて大きな活躍が期待されます。

顧問の齋藤巨教諭は全国大会を振り返り「県大会から全中まで、選手たちは気持ちを切らさず頑張ってくれました。特に、出場した3年生全員の入賞が何より嬉しいです。これからも『チーム富岡』として頑張っていきますので、皆さまの応援をよろしくお願いいたします」と選手をねぎらい、喜びを語られました。

— 今月の表紙「Happy Birthday☆とみっぴー」 —

とみっぴーの誕生日です。富岡町のみんなに笑顔をお届けしようと、小さい羽で各地を飛び回るとみっぴー。これからも暖かく見守ってくださいね。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。